

## 【戦評シート】女子決勝

平成30年 11月18日 (日)	協会名： 秋田県 バスケットボール協会																									
場 所： 由利本荘市総合体育館	記入者： 佐藤 潤、小玉智和																									
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">チームA</td> <td></td> <td style="text-align: center;">17 - 13</td> <td></td> <td style="text-align: center;">チームB</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">大曲</td> <td style="text-align: center;">53</td> <td rowspan="4" style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="text-align: center;">37</td> <td style="text-align: center;">湯沢南</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">19 - 4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">10 - 7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">7 - 13</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	チームA		17 - 13		チームB	大曲	53	}	37	湯沢南			19 - 4					10 - 7					7 - 13			
チームA		17 - 13		チームB																						
大曲	53	}	37	湯沢南																						
			19 - 4																							
			10 - 7																							
			7 - 13																							

スターター	チームA： #4、#6、#7、#8、#18
	チームB： #4、#5、#6、#7、#9
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

女子決勝は平成11年度と同じ顔合わせ。大曲は18年ぶり、湯沢南は初優勝をかけての大曲対湯沢南の対戦となった。

第1Q、大曲は#6のフリースロー、3Pで得点。対する湯沢南は#5のジャンプシュート、#9ゴール下の得点で応戦する。しかし、大曲は#4の連続3Pや#7のバスケットカウントで得点を重ねる。13-8となったところで湯沢南はタイムアウトを請求する。タイムアウト後、#4の3Pで点差を縮めるが、大曲も#6のドライブインで得点し、第1Qを17-13で終了する。

第2Qは大曲の厳しいディフェンスに湯沢南が得点できず、大曲#18のドライブからのバスケットカウントとレイアップ、#6の速攻と3Pなどでリードを広げる。29-13となったところでたまたま湯沢南がタイムアウトをとる。しかし、タイムアウト後も大曲はディフェンスの手を緩めず、湯沢南は得点することができなかった。湯沢南は残り2分を切ったところで、#7のドライブインでようやく得点をあげる。しかし、大曲は#8の連続得点で更にリードを広げ、36-17で前半終了。

第3Qは両チーム共にシュートまでいくものの決定力に欠け、無得点が続く。2分過ぎたところで、大曲は#6の速攻でようやく得点をあげる。対する湯沢南は、すぐさま#5のゴール下のシュートで追いつく。しかし、大曲はディフェンスの手を緩めず、その後は湯沢南に得点を与えず、更にリードを広げる。27点差がついたところで、大曲は4人の選手を交代させる。残り1分を切ったところで、湯沢南の#6のジャンプシュート、#4のバスケットカウントが決まるものの、46-24で第3Qが終了する。

第4Q、湯沢南は#6のドライブインで先手をとる。その後、2対2の合わせから#5が連続で得点を重ね、リードを縮めるものの、大曲は#9の3P、#5の速攻で突き放す。残り3分を切ったところで大曲はオールメンバーチェンジ。そこから、湯沢南は#7のドライブイン、#5の3Pとゴール下シュートで反撃するが及ばず。終始、プレッシャーを与え続けた大曲が53-37で勝利し、18年ぶり7回目の優勝を飾った。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。